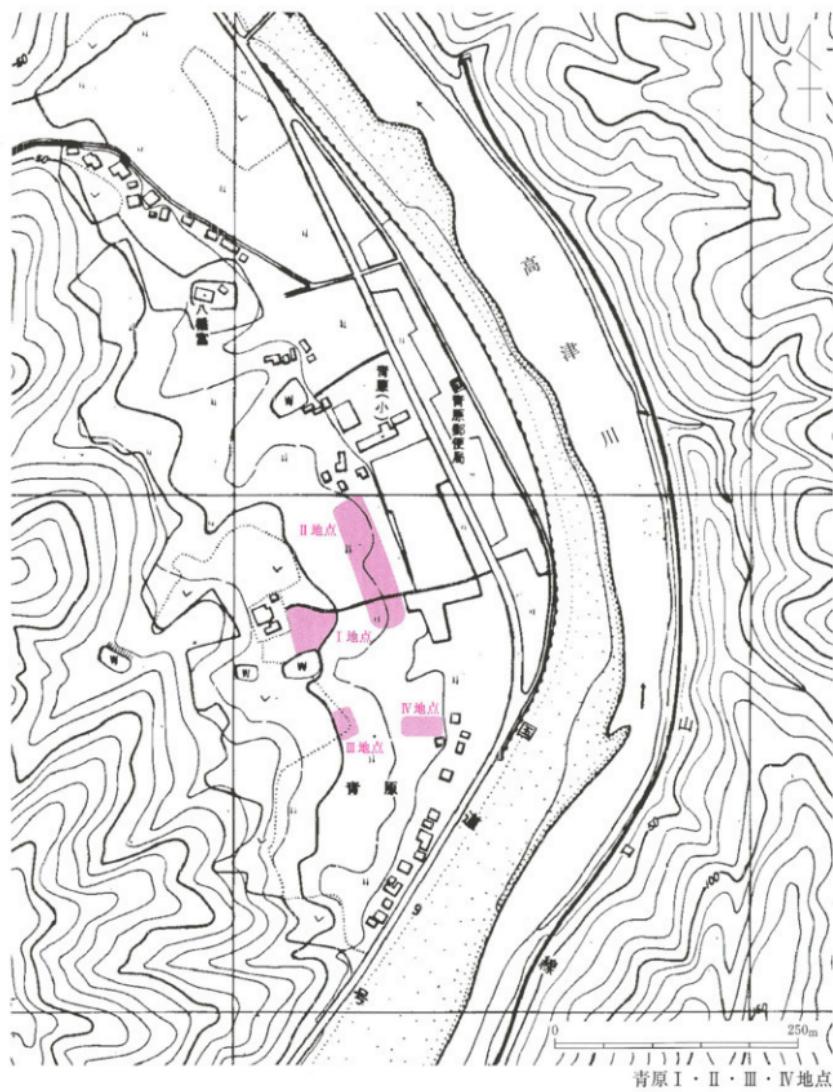


第3章 平成13年度 発掘調査概要



試掘対象範囲図

第1節 青原I地点

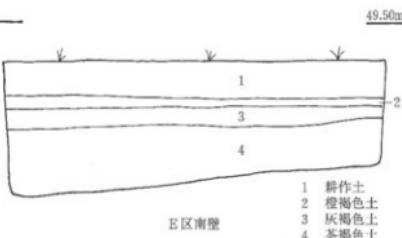
①調査地点 烏根県鹿足郡津和野町青原238-1外（標高 約49m）

②調査原因 住んで幸せしまねづくり事業

③調査期間 平成13年5月14日～5月29日

④調査面積 24m²

⑤検出遺構 ナシ

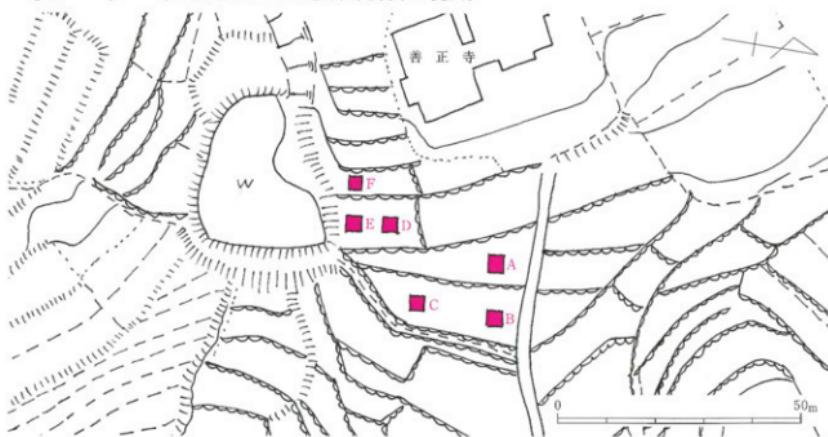


⑥出土遺物 石器類ビニール1袋 土器類ビニール1袋 瓦類ビニール1袋
陶磁器類ビニール7袋 古銭1点

⑦調査所見 開発事業に伴い、伐り土になる部分において基本的に試掘調査をすることにした。試掘坑は6ヶ所設け、北側から南側へA区～F区とした。そのうちA～C区は、中世・近世の陶磁器や古銭、土鍤などが3層（灰褐色土）から出土した。E・F区は、3層から中・近世陶磁器、4層（茶褐色土）から石器類、縄文土器が出土している。遺構については確認することができなかった。

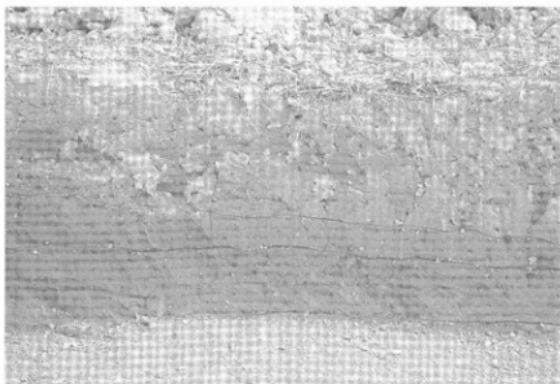
⑧指示事項 事業予定地内において試掘調査の結果、縄文・弥生・江戸時代の遺跡があると判断した。事業によって現状を掘削する場合は発掘調査を行い記録保存する必要がある。

⑨備考 寺の前遺跡として遺跡発見届けを提出。

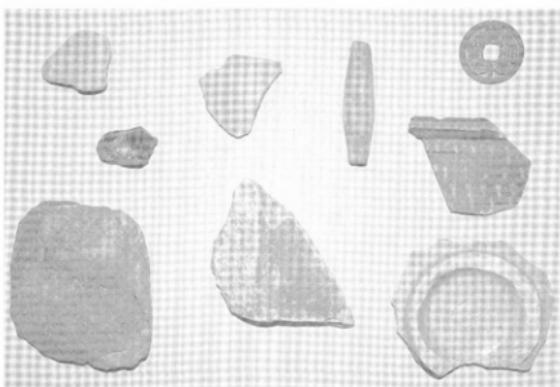




調査区全景（南から）



B区土層（東壁）



出土遺物

第2節 青原Ⅱ地点

①調査地点 烏根県鹿足郡津和野町青原243外（標高 約43m）

②調査原因 住んで幸せしまねづくり事業

③調査期間 平成13年5月31日～6月13日

④調査面積 20m²

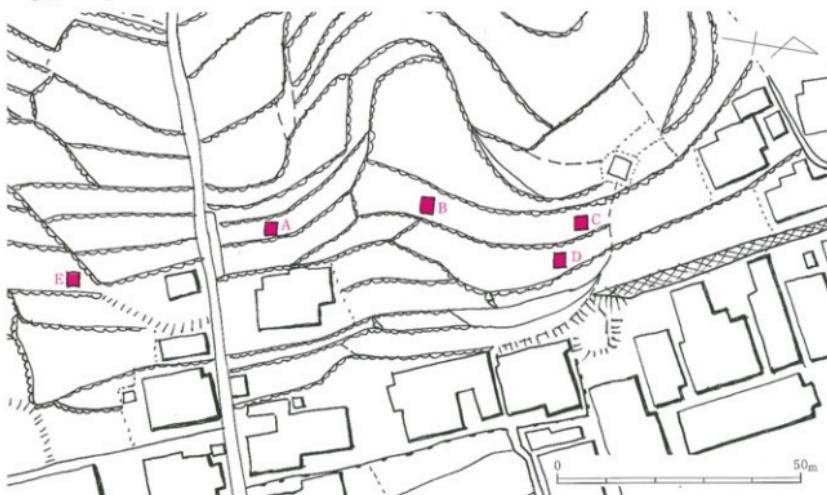
⑤検出遺構 ナシ

⑥出土遺物 近代陶磁器類ビニール1袋

⑦調査所見 開発事業の道路予定地内になる部分において基本的に試掘調査をすることにした。試掘坑は5ヶ所設け、寺へ行く道路から北側へA区～D区とし、追加としてE区の南側にE区を設けることにした。AからD区については遺構の検出はされなかった。E区においては土坑と思われる遺構が検出されたが、用途は不明で遺物なども出土しなかった。C・D区の耕作土から近代陶磁器が出土している。

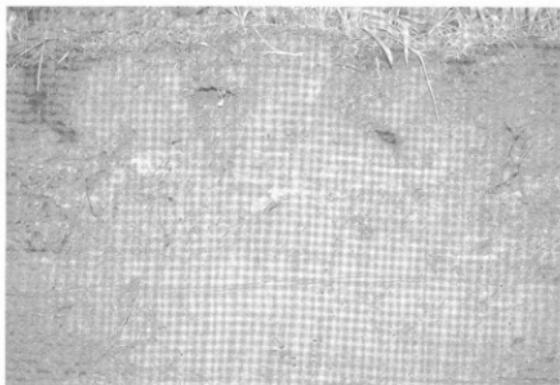
⑧指示事項 事業予定地内において、埋蔵文化財の存在は認められなかった。

⑨備 考

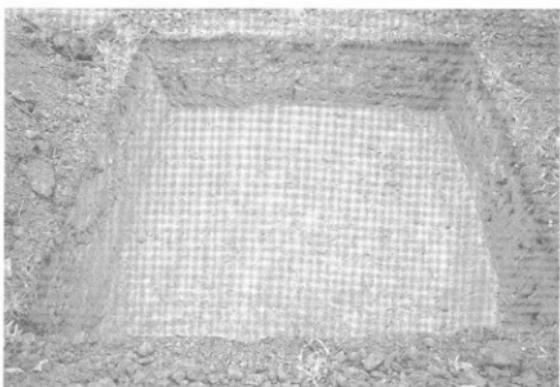




調査区全景（西から）



A区土層（東壁）



A区完掘状況（西から）

第3節 青原Ⅲ地点

①調査地点 烏根県庵足郡津和野町青原211外（標高 約55m）

②調査原因 住んで幸せしまねづくり事業

③調査期間 平成13年6月7日～6月27日

④調査面積 16m²

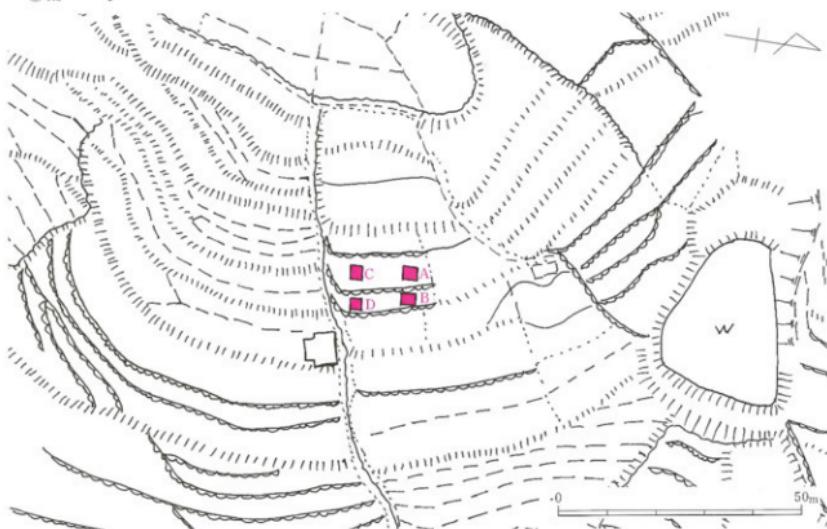
⑤検出遺構 ナシ

⑥出土遺物 近代陶磁器類ビニール1袋

⑦調査所見 開発事業に伴い、伐り土になる部分において基本的に試掘調査をすることにした。試掘坑は4ヶ所設け、西側から東側へA区～D区とした。耕作土の下層は地山という状況にあり、遺構等も確認することはできなかった。出土遺物は耕作土中から近代陶磁器片が出土している。

⑧指示事項 事業予定地内において、埋蔵文化財の存在は認められなかった。

⑨備 考

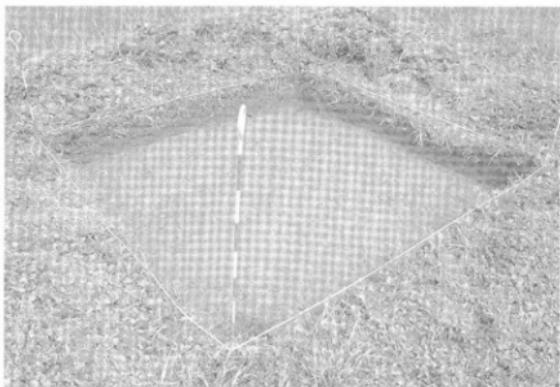




調査区全景（西から）



C区土層（東塙）



C区完掘状況（北西から）

第4節 青原IV地点

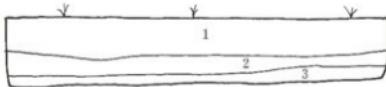
①調査地点 烏根県鹿足郡津和野町青原178-1外（標高 約43m）

②調査原因 住んで幸せしまねづくり事業

43.10m

③調査期間 平成13年6月11日～7月27日

④調査面積 20m²



D区東壁
1 耕作土
2 橙褐色土
3 茶褐色粘質土

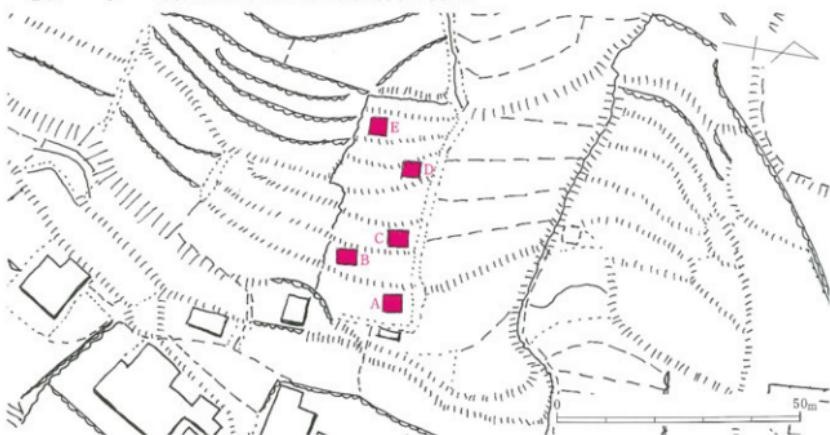
⑤検出遺構 ナシ

⑥出土遺物 石器類ビニール1袋 陶磁器類ビニール3袋 鉄器類3点 古銭1点
瓦類ビニール1袋

⑦調査所見 開発事業に伴い、伐り土になる部分において基本的に試掘調査をすることにした。試掘坑は5ヶ所設け、東側から西側へA区～E区とした。A・C・D区の第2層橙褐色土、第3層茶褐色粘質土から陶磁器類・古銭・石器などが出土している。しかし、石器と陶磁器類が同層から出土していることから、この地点は水田開発により攪乱されていると考えられた。

⑧指示事項 事業予定地内において試掘調査の結果、縄文・弥生・鎌倉・江戸時代の遺跡であると判断した。事業によって現状を掘削する場合、発掘調査を行い記録保存する必要がある。

⑨備考 鑄物地遺跡として遺跡発見届けを提出。

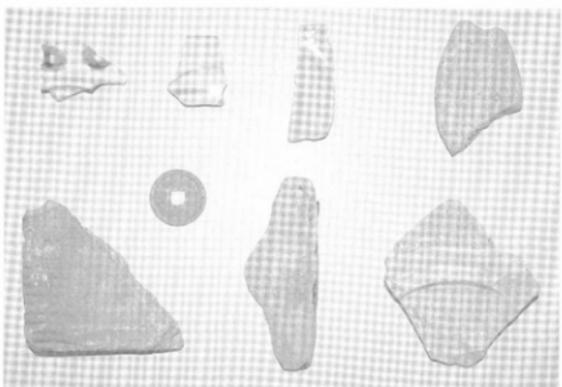




調査区全景（北から）

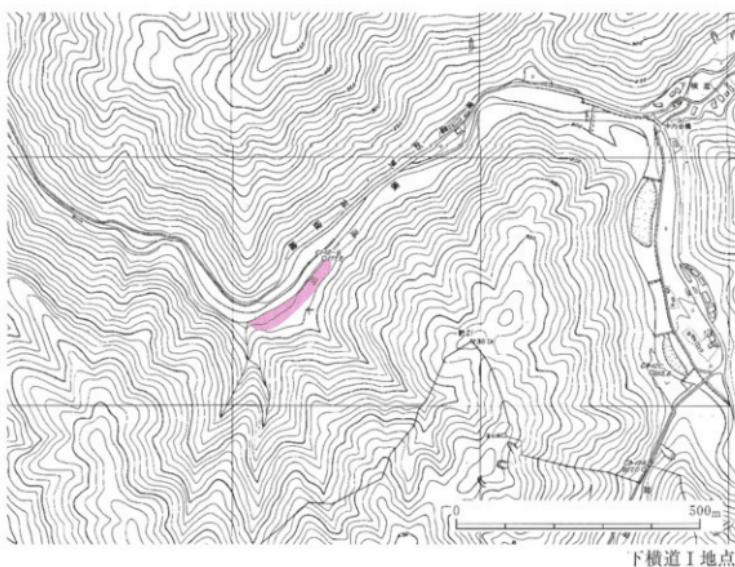


D区土層（南西から）

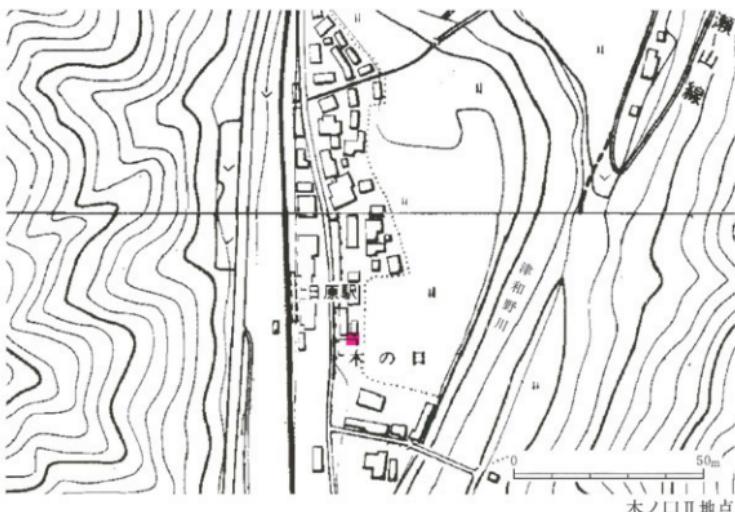


出土遺物

第4章 平成14年度 発掘調査概要



下横道Ⅰ地点



試掘対象範囲図

第1節 木ノ口Ⅱ地点

①調査地点 烏根県鹿足郡津和野町枕瀬434-6外（標高 約71m）

②調査原因 個人住宅建設

③調査期間 平成14年9月30日～10月9日

④調査面積 16m²

⑤検出遺構 ナシ

⑥出土遺物 石器類1点 土器類ビニール1袋 陶磁器類1点

⑦調査所見 建設に伴い、掘削部分において基本的に調査をすることにした。試掘坑は3ヶ所設け、東側からA、B、C区とした。なお、平成13年度に調査した萬世溢遺跡から西側約15mのところにある。

本調査と同様に第3層暗灰褐色土、第4層茶褐色土から縄文土器、石器、土師質土器などが出土した。しかし、狭い範囲の調査区のため遺構は検出できなかった。しかし、萬世溢遺跡が西側に拡がっていることは確認できた。

⑧指示事項 事業予定地内において試掘調査の結果、縄文・弥生時代の遺跡であると判断した。

⑨備考 日原町埋蔵文化財発掘調査報告書第2集「萬世溢遺跡」に詳細を載せている。

